

【別紙】 令和4年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立芝中学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	賢く、美しく、逞しい生徒の育成
目指す学校像	<豊かな環境の中で生徒が主体的に学び、協働し、逞しく、活気溢れる学校> ～家庭・地域の期待に応える学校、9年間を見通して地域の宝として子どもたちを育てる学校～

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	4名
事務局 (教職員)	2名

学校自己評価					
領域	年度重点目標			年度評価 (令和5年2月1日 現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	学校経営方針に基づき教師一人一人に情熱と使命感を持たせ、地域とともに生徒を育成する組織を構築する (コミュニティ・スクール) とともに、和やかな中にも規律あるハラスメントのない職場環境にすることが課題である。	○当事者意識の醸成 ○ミドルリーダーの育成 ○地域で子どもを育てる意識の醸成 ○ハラスメントゼロ ○働き方改革の推進	①各分掌における自分の役割を自覚をさせるとともに、当事者意識を持たせ、ミドルリーダーの育成を図る。 ②家庭や地域との協働場を設定し、共に子どもを育てる意識を教職員に醸成するとともに、コミュニティ・スクールとしての機能を強化する。 ③ハラスメント防止委員会及び相談員を効果的に活用し、ハラスメントゼロを目指す ④業務改善スタンダードを策定し、8つの方策を実施する。	①コロナ禍の中でもニューノーマルな取り組みができるよう、ミドルリーダーを中心に新規提案・実践をさせることができた。 ②コロナ禍の中であることから地域との協働場面の設定は叶わなかった。 ③校長だより等を通じてハラスメントゼロに向けた啓発を行い、ハラスメントゼロを表現した ④校長だよりを通じて、業務改善スタンダードが形骸化しないよう意識化を図った。その結果、時間外在校時間の減少につながってきている。	B ①人事異動に伴い、各分掌の引継ぎを確実にデータ化することで負担軽減を図り、未経験の分掌でも当事者意識を持って取り組めるようにする。 ②PTA、地域との協働場を意図的に設定し、子どもたちを地域の宝として地域で育てるという意識醸成の啓発を継続して行う。 ③日々教育公務員としての自覚を促し、チーム芝としての仲間意識、帰属意識を醸成する。 ④部活動の地域移行も含め、働き方改革の推進を図る。
教育課程	継続して主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を図るとともに、防災教育を核とした教科横断的な学習を推進する。	○主体的、対話的で深い学びの視点による授業改善 ○教科横断的な学習の推進	①授業において見直しと振り返りの時間を確保し、各教科の「見方/考え方」をもとに生徒自身に考えさせ、協働させる場面を設定することで深い学びにつなげる。 ②防災教育に係る各教科の単元・題材配列表を作成し、全教科を通じて教科横断的な学習を行う。	①各教科において、見直しと振り返りを意識した授業を行うことができた。また、どの教科も対話的な活動を意図的に設定し、深い学びに繋げるよう工夫をした。 ②全教科に渡り単元配列表を作成し、防災の視点から見る教科指導の場面を設定した。全教科とも令和4年度、令和5年度のいずれかで研究授業を行い、川口市教育委員会指導主事にご指導をいただきながら研究を進める。	A ①令和の日本型教育の実現に向け、校内研修を通じて個別最適な学び、協働的な学びを意識した授業づくりを行わせる。また、タブレット端末を活用し、マイシードの効果的な活用場面を増やす。 ②防災教育を核として、各教科・領域において防災教育と連動した授業を展開する。また、防災教育の一環としてSDGsの視点も取り入れ、持続可能な社会の構築についても学習を深める。
開かれた学校づくり	コミュニティ・スクールとして基本学区の小学校と連携し、9ヵ年を見通した生徒の育成を図る。また、地域の力を学校に取り込むとともに、生徒の力を地域へと還元し、地域の学校としての機能を果たす。	○教育活動の積極的な発信 ○地域の力の活用 (学校) ○生徒の力の活用 (地域)	①本校の教育活動をHPや学校だよりを通じて適宜情報発信する。地域のHPとの情報連携、共有を図る。 ②学校行事に地域の力を積極的に取り入れ、教育活動の理解と協力をいただく場面を設定する。(防災サミット・合同防災訓練等) ③地域の行事に生徒を積極的に参加させ、生徒の力を地域への還元する場面を設定する。	①学校HPを通じて最新の情報や日々の教育活動の様子を発信することができた。HPの平均アクセス数が多いことから、edumap大賞特別賞をいただくことができた。 ②PTAの協力により学校行事の運営をスムーズに行うことができた。3月には地域と連携した防災サミットを開催する予定である。 ③吹奏楽部が町会の文化祭に参加し、町会の皆様に演奏を披露することができた。	B ①引き続き学校HPを通じて最新情報や日々の教育活動の発信を行うとともに、HPを通じて通知文やたよりをダウンロードするなど、ペーパーレス化を図る。 ②③コロナ禍の中でもでき得ることを模索し、保護者、地域の力を学校に取り込み、生徒の力を地域に還元する取組を増やす。また、令和4年度は防災サミット、令和5年度は合同防災訓練を実現する。
教職員の資質向上	教育公務員としての自覚を高めるため、また一人一人の専門性を高めるための研修の充実と積極的な参加を促す。教員個々の目標を把握するとともに、その達成に向けて計画的に授業観察、面談を通じて指導、助言を図ることが課題である。	○服務規律の確立 ○専門性の向上 ○個に応じたスキルアップ	①倫理確立委員会を月2回実施し、教職員へ服務規律の指導を行い、服務の適正化と教職員事故防止の徹底を図る。 ②校内研修において、互いに授業を見合い、指導法の工夫、改善に努める。 ③自己評価シートと面談を通じて「個別の指導計画」を作成・活用し、授業観察や面談を適宜実施し、評価をフィードバックすること繰り返しながら教職員の育成を図る。	①倫理確立委員会を実施するとともに、校長だよりを通じて服務規律遵守の意識向上を図ることができた。 ②授業のない時間等を使い、他教員の授業を参観したり、全校道徳を実施することで師範授業を参観したりするなど、授業力向上に努めることができた。 ③自己評価シートや人材育成シートを活用し、教師の一人ひとりの課題や目標を把握し、授業観察を通して指導、助言を行うことができた。	B ①倫理確立委員会やハラスメント防止委員会を中心に啓発活動を適宜実施するとともに、校長だよりや集会等で教育公務員としての使命と誇りを意識化する。 ②気軽に互いに授業を見合うことができるよう、職員レクなどを通じて風通しの良い職場づくりを努める。 ③人材育成シートを基に面談や授業参観を通して教員一人ひとりの課題解決に向けた支援を行うなど、短時間でも指導・助言を行う時間を確保する。
施設・設備等の管理	老朽化の進む施設、設備を計画的に修繕する。また、関係部局と連携し、生徒の安全、安心を確保するとともに、地域の防災拠点として機能するようさらなる整備を進める。	○定期的な点検による事故防止 ○地域の防災拠点としての機能向上 (スロープや他目的トイレの設置等)	①校内掲示物の充実を図るとともに、月1回の安全点検の確実な実施と管理職による1日2回以上の校内巡回で施設設備の不具合箇所の早期発見、早期対応で事故を防止する。 ②地域防災会議を開催し、必要事項の確認等、共通理解を図るとともに、防災拠点として必要な設備等について協議し、関係部局に提案等を行う。	①教頭をはじめとする安全担当による安全点検を適宜実施するとともに、養護教諭や相談員、各学年職員により掲示物の充実を図ることができた。 ②3月には地域と連携した防災サミットを開催する予定であり、本校生徒会本部役員と町会の防災担当者との会議を実施する。その際、学校と地域それぞれができること、協働できることなどを協議する。	B ①教頭を中心に安全担当による安全点検を定期的な実施するとともに、防災拠点としてのみならず、性の多様性を踏まえ、多目的トイレの設置も実現する。また、桜の木の老朽化に伴い、市教委と協力して植え替え等を行う。 ②本校が地域の防災拠点として機能するよう令和4年度は防災サミット、令和5年度は合同防災訓練を実現する。また、生徒と地域のつながりが深まるよう取り組みも並行して行う。

学校関係者評価	
※実施日 令和5年2月28日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・ハラスメントゼロや教職員の時間外在校時間の減少は良かった点です。継続また更なる取り組みを願う。 ・コロナ禍後には地域との協働を多く望む・努力されていると思います。 ・次年度の活動も期待しております。引き続きよろしくお願いたします。	
・各教科において対話的な活動を設定したことはよかったです。 ・防災教育はとても素晴らしい。地域と協働しこれからも継続してやっていてもらいたい。 ・子どもたちが真剣に集中して授業を受けている姿が見られます。 ・次年度の活動も期待いたします。	
・HPを通じて学校の情報や教育活動の様子がほぼリアルタイムで分かりとても良かった。 ・生徒の力を地域に還元はいいことなのでHPの運用も含めて更に進めてもらいたい ・HPが見やすいし親しみやすい。 ・次年度の活動も期待いたします。	
・教職員の日頃の努力に感謝したい。働き方改革の推進もありますので、無理なくやってほしい。 ・教職員にもカウンセリングの時間があるといいのでは。(実施しているか回答) ・資質向上の意識が高く、努力されていると思います。 ・次年度の活動も期待いたします。	
・一日2回以上の校内点検は良いことですね。 ・防災サミットの開催を実施することで、より学校の設備や安全に対しての意識が高まるのは良いことだと思います。 ・細かい点検、修理をしてきれいに保たれていると思いますが、地域の防災拠点になるには更なる改善が必要かなと思います。	